

郷土の宝・財産「山田堰・堀川用水・水車群」を地域で守ろう

1 社会資本の概要

福岡県朝倉市は、筑後川の中流域に位置する福岡県を代表する穀倉地帯です。かつては度重なる洪水や干ばつにより僅かな水田しかありませんでしたが、江戸時代の農民の命を掛けた英知と技術により、山田堰、堀川用水及び三連水車群が築造され、現在のような水田が広がるまでになりました。この山田堰は、水流の激しい筑後川の水圧を石畳等で緩和する日本でも珍しい構造になっています。また、堀川用水は全長約88kmにわたり、貴重な農業用水路として活躍する一方、生活・防火用水等として市民生活にも欠かせない存在になっています。さらに、維持管理の負担が大きく存続が危ぶまれた三連水車については、地域が一体となった保存活動により今でも現役で稼働しています。平成2年に文化財保護法の史跡に指定、平成26年には世界かんがい施設遺産に登録されるなど、郷土の宝・財産として、多くの市民に愛されています。



筑後川と山田堰



三連水車

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

平成20年、人口減少や高齢化により施設の存続が危ぶまれ、不法投棄やポイ捨てなどにより環境悪化が進む中、かつての水辺環境を取り戻そうと「堀川の環境を守る会」が発足しました。

毎年「堀川クリーンアップ活動」として用水路の清掃や堤防の草刈等が行われ、農業者だけではなく多くの地域住民が参加しています。その活動内容も環境保全活動にとどまらず、地域住民や来訪者の憩いの場づくりとして、桜並木の整備、コスモス・彼岸花の植栽、三連水車のライトアップ等が行われるなど、その影響が地域全体に広がりを見せています。また、先人の築いた歴史や文化を後世に引き継いでいくため、将来の担い手である小学生を対象とした「水源林体験学習」、「山田堰・堀川用水・水車群の歴史学習」、「水の学習発表会」を継続的に行い、郷土愛の醸成につなげています。



堀川クリーンアップ活動



水源林体験学習



福岡県 朝倉市

堀川の環境を守る会 / 山田堰土地改良区



3 活動の成果や波及効果等

「堀川クリーンアップ活動」は、平成20年度に100名から始まり、平成28年度の第9回には、1,009名が参加。活動の継続により不法投棄は皆無となり、空き缶・空き瓶等のポイ捨ても減少しました。今では地域住民や観光客の憩いの場として、年間20万人を超える来訪者が訪れるなど、地域の観光振興にも寄与しています。

また、日々の活動を通じて、地域住民の「山田堰・堀川用水・三連水車群」への関心が高まり、「地域の宝・財産は地域で守る」という意識が根付きつつあります。



ライトアップされた三連水車



山田堰見学状況

喜びの声



受賞者

堀川の環境を守る会
会長 北原 弘人

コメント

この度の受賞は、「堀川の環境を守る会」の更なる飛躍につながると確信しています。地域の宝・財産「山田堰・堀川用水・水車群」を地域で守る啓蒙運動を継続し、次世代に引き継ぐ取り組みを行い、歴史的農業遺産を国内外に情報発信していきます。

活動内容

用水路清掃、植栽、水に関する啓蒙活動、
水車保存活動 など

活動の経緯

平成20年 会の発足
平成24年 水資源功労賞 受賞
平成26年 三連水車保存会設立
世界かんがい施設遺産登録

手づくり郷土賞

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

福岡県朝倉市山田地区

活動主体及び連絡先

堀川の環境を守る会 (0946-52-0531) ※功労者: 山崎 長太郎

対象となる社会資本

山田堰(一級河川筑後川)・堀川用水・水車群 ※管理者: 山田堰土地改良区、国土交通省筑後川河川事務所

